

都民ファーストの会

豊島区議団・国民民主党

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1-9F
TEL:03-4566-2946
FAX:03-3980-2346
e-mail:info@tomfirst-toshima.tokyo



幹事長挨拶 (星京子)



私たちの会派は、7名の区議会議員が政策協定の下で丸となって活動している政策集団です。都民ファーストの視点になっているか、情報公開が十分か、賢い支出となっているか、持続可能性のある取組みとなっているか、という4つの政策判断基準で行政へのチェックと政策提言を行っていきます。また、併せて議会改革に向けた積極的な取組みにより、議会としての責任を果たす決意です。

昨年度は、物価高騰に直面する事業者の支援など、区独自の物価高騰対策に取り組むとともに、町会活動デジタル化支援や児童のスポーツ施設の利用料金の無償化、中小企業向け事業者の補助金新設、住宅への防災対策用品の設置・購入費用の補助など、区民生活を向上させるための政策を積極的に提言し実現して参りました。

今後も見込まれる食糧・燃料などの物価高騰対策、雇用や賃金の安定、働き方の改革、高齢者の方の社会的孤立の防止、子どもたちの学習



環境の改善など、新たな区民ニーズへ対応するとともに、区民の皆さまとともにまちの将来像を共有し、より良い区民生活の向上の実現に向け、一緒に取り組んで参ります。



令和7年第3回定例会 決算特別委員会

決算特別委員会にて令和6年度決算の審議が行われました。令和6年度の一般会計歳入は1,545億3,100万円（前年度比4.9%増）、歳出は1,496億9,200万円（前年度比3.9%増）、3特別会計歳入は合計611億7,335万円（前年度比4.4%増）、歳出は合計588億1,479万円（前年度比3.4%増）となりました。

歳入面では、定額減税による特別区民税減少の一方、その分の地方特例交付金による補填、物価高騰対策や再開発等に対する国や都からの支出金増加がありました。歳出面では、区民提案事業、各種物価高騰対策等、多様化する区民ニーズに迅速に対応する様々な施策が行われました。

私たちの会派からは、**星議員(委員長)**、**中山議員**、**原田議員**が委員として参加。総括質疑では、各会計間の繰入・繰出の状況、基金及び区債残高の妥当性、新規拡充事業等の現

状評価、執行額の大きい事業の動向、予備費の方針等の観点から財政の健全性・持続可能性を確認しました。

以下、款別審査での審査内容の一例です。

【議会費、政策経営費、総務費】

各種広報施策改善／人権擁護委員の活躍

【区民費、福祉費、衛生費】

民泊条例改正／社協の補助・委託事業

【環境清掃費、都市整備費】

南池袋公園の今後／東池袋一丁目地区市街地再開発事業

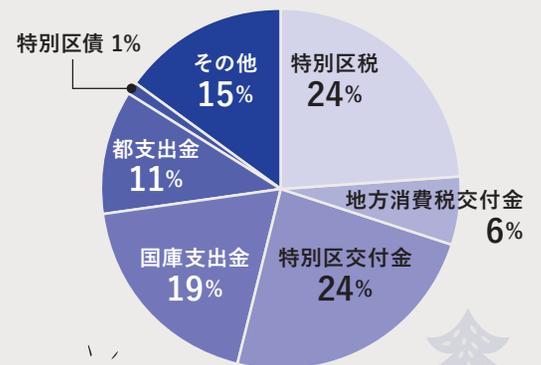
【文化商工費、子ども家庭費、教育費】

子どもの文化芸術体験機会創出／各種産業振興施策

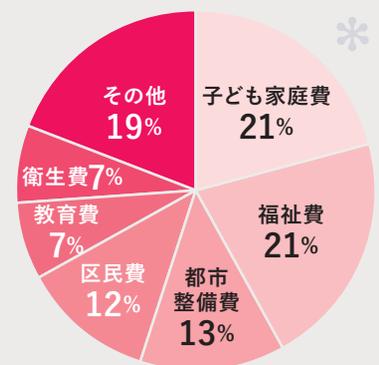
【公債費以降、一般会計歳入、3特別会計】

財調交付金のうち特別交付金の改善／介護人材確保策

一般会計歳入



一般会計歳出



星 京子	片岡きょうこ	細川 正博	中澤まさゆき	中山 よしと	宮崎 けい子	原田 たかき
幹事長	副幹事長	監査委員	子ども文教委員長	区民厚生副委員長	副都心特別副委員長	都市整備副委員長

令和7年第2回定例会

令和7年6月25日から7月30日まで、豊島区議会第2回定例会が開催されました。本定例会では、①防犯機器等購入緊急補助経費などを盛り込んだ一般会計補正予算第2号、②豊島区犯罪被害者等支援条例、③東部区民事務所の仮移転に伴う条例改正をはじめとする議案の審議を行いました。一般質問は、星議員、宮崎議員、原田議員が行いました。

星議員

『豊島の未来への展望』14としまの将来像

1.「豊島区実施計画2025」の策定にあたっては、区民の皆様と、理念やまちづくりの方向性を共有し、共に実現に向けて取り組んでい



星京子議員

くこと。
2.「少子化対策」では、少子化を食い止めるには、雇用や賃金の安定、働き方の改革など、総合的な取り組みの整備。
3.「高齢者対策」では、社会的孤立の対策や高齢者の活躍支援体制の促進。
4.「町会活性化プロジェクト」では、町会の担い手不足や町会活動デジタル化支援の活性化について、などの一般質問を行いました。

宮崎議員

「学びと地域の魅力を育む豊島へ」

トキワ荘マンガミュージアムができて5年が経ち、地域の活性化に向けたさらなる活用の可能性が広がっています。学校、地域と連携し、タブレット端末を活用したデジタル配信や、来訪者が記念写真を撮りやすい景観整備、立て看板周辺の樹木剪定など、魅力発信と



宮崎けい子議員

環境づくりの支援を区に求めました。地域の皆さんと共に、南長崎全体の魅力を高め、子どもから大人まで世代を超えた学びや交流の場を充実させ、地域全体で子育てや教育を支える取組を進めていきたいと考えます。

原田議員

「豊島区のさらなる魅力創出」

①部活動、②IKEBUS、③公契約条例、④権利擁護について一般質問しました。以下、各項目における提案・要望の要点です。①現状武道部が少ない区立中学校における、生徒たちが武道に親しむ機会の増加。②マンガ・アニメ等とのコラボ企画の積極実施によるIKEBUSの収益改善。③制定を目前に控えた公契約条例の詳細内容と労働者等への周知。④成年後見制度等の権利擁護施策の展望と、担い手となる社協の体制強化。



原田たかき議員

令和7年第3回定例会

令和7年9月17日から10月24日まで、豊島区議会第3回定例会が開催されました。本定例会では、①令和6年度に関する豊島区の決算審査のほか、②公契約条例、③ふるさと納税、④巢鴨第一保育園改築、⑤高齢者スマートフォン購入費助成、⑥こどもつながる定期預かり事



片岡きょうこ議員

業をはじめとする議案の審議を行いました。一般質問は、片岡議員、中山議員が行いました。

片岡議員

「時代の先端をいく豊島区をめざして」

平和事業、福祉、教育・再開発など幅広く取り上げました。再開発ではシェルター機能貢献要素として検討するよう提案し、教育では科学的知識を重視した食育を要望。福祉タクシー券の見直しや在宅レスパイト時間を288時間まで拡充を実現し、学校建て替えでは安全管理や騒音・振動対策の徹底を求めました。子どもたちの未来のために、これからも取り組んでいきます。

中山議員

「更に質の高い区民サービスを目指して」

一般質問を行いました。ご高齢の方に対する



中山よしと議員

支援、子育て支援、物価対策など豊島区にはまだまだ行うべき支援が多くあります。財源の確保や現体制で本当に実施出来るのかなど、提言をただ行うのではなくその裏付けの観点もしっかりと含めながらの質問となっています。今回は、税金に関する質問にて財源を確認し、内部統制に関する質問にて実施体制を確認しています。

公契約条例について



豊島区公契約条例が新たに制定されました。公契約条例は区が発注する公共工事等の品質確保やその業務に従事する労働者等の良好な労働環境確保ため、公共工事等における労働報酬下限額を設定し、その実効性を高めるための労働者等による申出、区による立入調査や是正措置要求等の仕組みを定めたものです。以前の私たちの会派からの提案に対し、区が初めて条例制定の方針を明言しましたが、それがこの度遂に条例制定に至りました。

民泊条例改正について



豊島区では、民泊に関する条例の改正が検討されています。違法民泊増加を防ぐために区域や期間の制限はしない内容の条例となっておりましたが、近年の生活環境の悪化に対する苦情の増加やその実情を踏まえ、区は条例改正を行う判断へと至っています。私たち会派も、地域住民の生活環境が悪化しないような条例となるよう注視しています。また同時に、適正な運営を行っている事業者の取扱いについても慎重に議論しています。